平成２７年度　　事務事業評価シート

章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす
施策	I	生涯にわたるスポーツ活動の推進
目標		体力づくりを推進し、健康で活力ある生活を目指す。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標①	月に１回以上、スポーツ（ウオーキングを含む）をしている人の割合	%	39.0	－	－	56.0	－	－	－		60.0
指標②	市民プールの利用者数	人	116,000	114,372	115,263	117,349	113,987	116,087	118,028		120,000

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　スポーツ・レクリエーション活動の推進	①　スポーツ教室等の充実	・各種スポーツ教室や講習会、体育指導委員による指導者派遣事業の一層の充実を図ります。 ・関係団体や関係機関と連携し、高齢者や障がい者のスポーツ参加や指導者の協力を促進します。
1-②	1　スポーツ・レクリエーション活動の推進	②　多様なイベント等の実施	・各種レクリエーション団体や市民が参加する各種イベントの開催に努めます。 ・関係団体と連携し、全国・全道規模の大会・イベントの参加を促進します。
1-③	1　スポーツ・レクリエーション活動の推進	③　各団体とのネットワーク化、情報提供	・スポーツ教室や指導者、イベント、施設など多種多様な情報の提供に努めるとともに、関係団体からの情報を容易に入手できるよう、情報通信技術の活用を図ります。 ・市民、行政、スポーツ団体などが連携し、多種目、多世代、多様な技術・技能の人たちで構成され、市民一人ひとりが主体的に運営に加われるようなスポーツクラブの育成について検討します。
1-④	1　スポーツ・レクリエーション活動の推進	④　指導者育成（コーディネーター）	・体育指導委員の資質向上を図るため、各種研修会への参加に努めます。 ・スポーツに関する情報を収集・提供し、市民と関係団体、行政との調整を行うコーディネーターの養成を図ります。 ・生涯スポーツを推進するため指導者養成・発掘に努めます。
2-①	2　健康・体力づくりの推進	①　関係機関の連携	・スポーツ・保健関係機関との連携を密にし、役割分担をしながら、健康・体力づくりの充実を図ります。 ・準備運動やトレーニング方法、栄養や食事、休養のとり方などスポーツ医学について保健機関とも連携しながら情報の収集や提供に努めます。
2-②	2　健康・体力づくりの推進	②　温水を利用した健康づくり	・関係機関・団体と連携し、温水を活用した健康・体力づくりを推進します。
2-③	2　健康・体力づくりの推進	③　豊かな自然を利用した健康づくり	・豊かな自然を利用したウオーキングやトレッキングなどにより、生涯スポーツの振興や市民の健康増進、医療費の抑制に努めるとともに、地域資源の再発見や環境教育の推進に努めます。
3-①	3　競技スポーツの推進	①　選手の育成	・競技力の向上を図るため、適切な指導者の配置や強化体制の整備を進めるとともに、学校運動部活動やスポーツクラブ・サークルとの連携を進め、一貫した指導体制による競技力向上に努めます。 ・登別市体育協会やスポーツ少年団、学校、企業などの連携強化に努めます。
3-②	3　競技スポーツの推進	②　指導者の育成・活用	・競技団体が開催している指導者講習会の受講を勧めるなど、指導者の拡大に努めます。 ・スポーツの楽しさを教えながら、競技者の技術向上を図る指導者の養成・発掘に努めます。 ・種目別のスポーツ指導者の把握を進めるとともに、指導者に関する情報を市民に提供します。 ・競技団体認定指導員や公的機関認定指導員、体育指導委員などが互いに連携をとり、市民が希望する指導を受けやすくする組織・システムづくりについて検討します。
3-③	3　競技スポーツの推進	③　交流を通じて豊かな心の育成	・姉妹都市や近隣市町村などとのスポーツ交流を通じ、競技力の向上を図るとともに、仲間や指導者との交流によりコミュニケーション能力を育成し、他人に対する思いやりや豊かな心を育みます。
4-①	4　施設整備の推進	①　施設の整備	・学校体育施設を含めた市のスポーツ施設について、その整備方策について検討します。 ・高齢者や障がい者に十分に配慮した施設の改修等を行い、魅力あるスポーツ空間の確保に努めます。
4-②	4　施設整備の推進	②　施設運営方法の検討	・スポーツ施設の運営について、利用者の意見を聞くとともに利用者の代表が参加する方法を検討します。
4-③	4　施設整備の推進	③　利用者間の調整	・施設の有効利用を図るため、地域や種目ごとに利用団体の調整を行うなど、市民のスポーツを行う機会の拡大を図ります。
4-④	4　施設整備の推進	④　施設情報の充実	・広報紙やホームページを活用したスポーツ施設情報の充実に努めます。

Plan ・ Do

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等（※ハード事業の場合は、施設名を記載）	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
1	1-②	青少年会館運営管理経費 54112001	教育委員会	社会教育G	－	－	ソフト	一般会計	レクリエーション活動等を推進することにより、青少年の健全な育成を図ることを目的とする。	H25	青少年会館利用者	市内２箇所（中央・富岸）の青少年会館の運営管理を行った。 運営管理業務を公益社団法人登別市シルバー人材センターへ委託した。	登別市青少年会館設置条例、登別市青少年会館運営規則
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施したほか、施設の目的に沿った利用の推進と公平性を確保するため、平成26年７月から、青少年（18歳未満）以外の個人・団体の施設利用を有料化した。	上記のとおり
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり
2	1-②	登別こいのぼりマラソン開催補助金 54112002	教育委員会	社会教育G	－	－	ソフト	一般会計	登別こいのぼりマラソンの開催を支援し、親子のふれあい、子どもたちの健全育成、市民のスポーツ振興と健康増進を図るとともに、広く参加者を集め、市の観光振興を図ることを目的とする。	H25			－
										H26	こいのぼりマラソン参加者	登別こいのぼりマラソンを開催する登別こいのぼりマラソン実行委員会に対して、大会実施に要する経費の一部を補助した。 【大会の概要】 ・開催日　５月11日（日） ・種目　３km、３km親子、５km、10km、400m（幼児オープン競技）、ウォーキング・ノルディックウォーキング	登別市補助金等の事務取扱に関する規則
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施済み 【大会の概要】 ・開催日　５月10日（日） ・種目　３km、３km親子、５km、10km、400m（幼児オープン競技）	上記のとおり

Plan ・ Do：事業の成果、目標

NO	年度	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
1	H25	青少年会館使用人数	人	54,238	48,619	55,000	55,000	55,000	55,000
	H26								
	H27	－	－	－	－	－	－	－	－
2	H25	参加人数	人		384	366	500		
	H26								
	H27	－	－	－	－	－	－	－	－

Plan ・ Do：各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】

NO	年度	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案
1	H25	国庫支出金							
		道支出金							
		地方債							
		その他	行政財産使用料 青少年会館使用料	13	656	965	965	965	965
		一般財源		11,223	11,166	11,083	11,083	11,083	11,083
		合　計		11,236	11,822	12,048	12,048	12,048	12,048
2	H25	国庫支出金							
		道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源			1,500	800	600		
		合　計		0	1,500	800	600	0	0

Check

NO	年度	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H25以前	青少年会館は市内４か所（中央、登別東、富岸、鷲別）に設置されていたが、施設の老朽化により、平成21年度に登別東青少年会館、平成24年度に鷲別青少年会館の利用を休止し、解体した。	改善	青少年の健全育成を推進する場としての活用はもちろん、一般の団体などの利用も多く、市民のスポーツ振興の場の一つとしても活用されていることから、今後も事業を継続することが相当であると考えるが、施設のさらなる効率的な運営と市民サービスの向上を目指すため、指定管理者の導入も検討していく。
	H26	・施設の有料化について検討したほか、有料化に伴う券売機の導入や団体予約の時期・調整手法を変更するなど、事務改善を図った。		
	H27	施設利用の有料化を図ったことから、指定管理者の導入に向けて検討していく。		
2	H25以前		維持	市民の健康増進及び本市を代表するスポーツイベントとして定着を図り、市街地コースの運営を安定して進めていくうえでても、財政的な支援が必要である。
	H26	登別こいのぼりマラソンを開催する登別こいのぼりマラソン実行委員会に対して、大会実施に要する経費の一部を補助した。		
	H27	イベントの自主運営に向け、補助金を減額した。		

Action

NO	年度	今後の事業の方向性【H28以降】
1	H25以前～H27	施設の設置目的に沿った利用と公平性を確保しながら、青少年の健全育成とスポーツ振興を図っていく。
2	H25以前～H27	全国各地から参加者が集う大会を目指すため、登別こいのぼりマラソンを広く周知するとともに、開催に係る経費の一部を支援するため、平成28年度を最終年度として補助を継続し、今後の運営について再検討する。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H28以降】
3	1-④	登別市体育協会助成金	教育委員会	社会教育G	S45	－	ソフト	一般会計	スポーツ団体の育成とスポーツ振興の活動を行っている体育協会を支援することにより、市民がスポーツに親しみ健康で活力ある生活を送ることができる社会の形成を目的とする。	H25	登別市体育協会	市民スポーツの振興と裾野拡大を図る登別市体育協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。 【主な事業】 加盟団体事業への援助、スポーツ指導者の育成、スポーツ表彰、胆振管内軽スポーツフェスタ（パークゴルフ・ミニバレーボール）への参加・協力、姉妹都市交流事業への支援	登別市補助金等の事務取扱に関する規則	体育協会加盟人数	人	2,583	2,583	2,600	2,600	2,600	2,600	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	登別市体育協会の活動は、スポーツイベントの開催や市内で活動するスポーツ団体の育成を行い、市民の健康増進及びスポーツ振興に繋がっていることから、今後も支援を実施していく必要がある。	市民のスポーツや健康への普及啓発を図る登別市体育協会を引き続き支援する。
																					道支出金												
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								地方債								H26	上記のとおり			
														体育協会加盟チーム数	チーム	89	89	100	100	100	100	その他											
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり								一般財源		800	800	800	800	800	800	H27	上記のとおり			
		54114001																			合 計		800	800	800	800	800	800					
4	2-①	生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成事業	教育委員会	社会教育G	－	－	ソフト	一般会計	登別市スポーツ振興基本計画に基づき事業を実施することにより、生涯スポーツのまちづくりを推進し、市民の健康増進や体力向上を図ることを目的とする。	H25	市民	生涯スポーツの振興と健康増進のため、市民ラジオ体操会を実施した。 【市民ラジオ体操会】 会場：幌別小学校、鷲別小学校　計160名	スポーツ基本法、登別市スポーツ振興基本計画	市民ラジオ体操会参加者数	人	160	239	300	300	300	300	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	市民の健康増進及び体力向上を図るため、今後も事業を継続していく。	市民のスポーツへの参加意識の向上につなげるため、健康増進や体力づくりにつながる事業の拡大を図る。
																					道支出金												
										H26	上記のとおり	上記のとおりラジオ体操会を実施したほか、　第２次登別市スポーツ振興基本計画を策定するため、市民アンケートを実施した。 【市民ラジオ体操会】 会場：登別小学校、鷲別小学校　計239名 【アンケートの実施状況】 発送数：2,096件 回収：777件	上記のとおり								地方債								H26	第２次登別市スポーツ振興基本計画を策定するため、市民アンケートを実施した。			
																					その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおりラジオ体操会実施予定 【市民ラジオ体操会】 会場：青葉小学校、若草小学校　計168名	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	一般財源		56	220	99	99	99	99	H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
		54121001																			合 計		56	220	99	99	99	99					
5	2-②	市民プール運営管理経費	教育委員会	社会教育G	－	－	ソフト	一般会計	プール施設を活用することにより、市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。	H25	市民プール利用者	指定管理者への委託により市民プールの運営管理を行ったほか、次の箇所の点検や修繕等を実施した。 【指定管理者】（一財）登別市文化・スポーツ振興財団 【委託期間】　平成23年度～平成27年度 【主な修繕箇所】 煤煙開閉装置、非常灯非常電源、温水ボイラー、オイルギアポンプ、ラジエーター　等 【主な点検個所】 可動床、プール水槽、暖房温水循環ポンプ、冷却塔　等	登別市民プール条例、登別市民プール条例施行規則	市民プール利用人数	人	113,987	116,087	115,000	120,000	120,000	120,000	国庫支出金							H25以前	施設建設から10年以上が経過し、設備等の破損も多くなっていることから、設備の定期点検を開始するとともに、計画的な修繕を実施している。	維持	市民の健康増進と余暇活動の充実を図るため、市が市民プールを設置しており、多くの市民が利用していることから、今後も事業を継続することが相当である。	市民の健康増進を図るため、市民プールの維持管理について、引き続き、指定管理者制度を活用し、効率的な運営を図っていく。
																					道支出金												
										H26	上記のとおり	上記のとおり、指定管理者への委託により市民プールの運営管理を行ったほか、市民プールの再公認や次の箇所について定期的な点検等を実施した。（修繕については、「市民プール整備事業費」で実施。） 【主な点検個所】 可動床、プール水槽、暖房温水循環ポンプ、空調機自動制御設備、電動リフト、熱交換器　等	上記のとおり								地方債								H26	上記のとおり			
																					その他	行政財産使用料	167	205	227	227	227	227					
										H27	上記のとおり	上記のとおり、指定管理者への委託により市民プールの運営管理を行っているほか、次の箇所の点検・修繕等を実施予定。 【主な修繕予定箇所】 濾過装置（ヘアキャッチャー）、空調機自動制御設備、非常灯非常電源　等 【主な点検個所】 可動床、プール水槽、暖房温水循環ポンプ、熱交換器　等	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	一般財源		52,389	56,848	54,990	63,806	63,806	63,806	H27	上記のほか、平成28年度以降の指定管理者の更新に向けて事務を進めていく。			
		54122001																			合 計		52,556	57,053	55,217	64,033	64,033	64,033					
6	2-②	市民プールバスパック業務委託事業	教育委員会	社会教育G	H17	－	ソフト	一般会計	市民が等しく市民プールを利用できる環境を整備することにより、市民の体力づくりと健康増進を図ることを目的とする。	H25	市民プール利用者	路線バス運賃と入館料を組み合わせた市民プールバスパックを販売した。 【委託者】 （一財）登別市文化・スポーツ振興財団 【販売場所】７箇所 市民プール、鷲別公民館、市役所母子会売店、市民会館、川西燃料店、道南バス若山営業所、道南バス登別温泉ターミナル	市民プールバスパック事業実施要項	バスパック利用人数	人	44	47	200	200	200	200	国庫支出金							H25以前	市民プールバスパックの利用者が少ないことから、市民プールバスパックが市民に周知されるよう、年に複数回の市広報への掲載を行った。	維持	市民プール利用者の利便性・経済性の向上に資することから、今後も事業を継続することが相当と考えるが、市民への有効な周知方法や取扱店の増加などについては、引き続き検討していく。	市民プール利用者の利便性、経済性を考慮し、今後も引き続き事業を継続していく。
																					道支出金												
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								地方債								H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
																					その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	一般財源		7	8	30	30	30	30	H27	平成28年度に向け、新たな指定管理者とともに、本事業の市民への有効な周知方法や取扱店の増加などについて、検討していく。			
		54122002																			合 計		7	8	30	30	30	30					
7	3-①	登別市スポーツ少年団育成助成金	教育委員会	社会教育G	S45	－	ソフト	一般会計	子どもたちのスポーツ振興を図る登別市スポーツ少年団本部を支援することにより、少年たちの体力づくりやスポーツ技術の向上を図ることを目的とする。	H25	登別市スポーツ少年団本部	子どもたちのスポーツ振興の拡充を図る登別市スポーツ少年団本部に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。 【主な事業】 スポーツ少年団育成事業、リーダー養成事業（各種交流会・研修会への参加）、競技別交流会、指導者養成事業、加盟団体への助成、姉妹都市交流事業支援等	登別市補助金等の事務取扱に関する規則	少年団加盟単位団体数	団体	21	21	21	21	21	21	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	子どもたちのスポーツ振興を図るため、普及に努めている登別市スポーツ少年団本部の役割は重要であり、支援が必要である。	子どもたちのスポーツ振興を図るため、普及に努めている登別市スポーツ少年団本部を引き続き支援する。
																					道支出金												
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								地方債								H26	上記のとおり			
																					その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	少年団加盟者数	人	320	314	350	350	350	350	一般財源		500	500	500	500	500	500	H27	上記のとおり			
		54131001																			合 計		500	500	500	500	500	500					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称		H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H28以降】
8	3-①	児童生徒スポーツ振興助成金	教育委員会	社会教育G	H14	－	ソフト	一般会計	スポーツ活動を行う児童・生徒の保護者の負担を軽減することにより、児童等の体育活動の向上を図ることを目的とする。	H25	市内の小、中学校、高等学校に在籍する児童生徒及び市内に居住する児童生徒	市内の小、中学校、高等学校に在籍する児童生徒及び市内に居住する児童生徒が、国際大会、全国大会及び全道大会に参加する場合に、要する経費の一部を助成した。 国際大会：０件 全国大会：８件 全道大会：77件	登別市児童生徒スポーツ振興助成金交付要綱	全国大会出場者数（引率者含む）	人	20	25	20	20	20	20	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	近年、市内の児童生徒が国際大会に出場する機会が見られるため、要綱の対象大会に国際大会を加えた。平成26年度には国際大会参加者がいたため、新たな対象枠にて、大会に係る経費の保護者の負担の軽減を図ることができた。 また、全道・全国大会についても、スポーツ振興とともに、保護者の経済的負担軽減を図っていくうえでも継続して事業を実施していくことが相当である。	全道大会以上に出場する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、児童生徒のスポーツ振興を図ることは、本市の将来のスポーツ活動の担い手を育成することにもつながるため、引き続き支援を継続する。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり 国際大会：１件 全国大会：11件 全道大会：67件	上記のとおり									地方債								H26	助成金の対象となる大会に国際大会を加えるなど、要綱の改正を行った。																					その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	北海道大会出場者数（引率者含む）	人	629	439	500	500	500	500	一般財源		2,118	1,645	3,000	3,000	3,000	3,000	H27	要綱で対象となっていない団体主催の大会への出場も見られることから、事業目的を踏まえ、個々に精査したうえで、対象団体の追加に向け、要綱の改正について検討していく。																					合 計		2,118	1,645	3,000	3,000	3,000	3,000																		

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H28以降】
13	4-①	岡志別の森運動公園運営管理経費	教育委員会	社会教育G	－	－	ソフト	一般会計	岡志別の森運動公園及び川上公園（Ｂゾーン）を活用することにより、市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。	H25	岡志別の森運動公園及び川上公園利用者	指定管理者への委託により、岡志別の森運動公園及び川上公園（Ｂゾーン）の運営管理を行った。 指定管理者：北海道曹達（株）幌別事業所 指定期間　：平成23年度～平成27年度	登別市都市公園条例、登別市有料公園施設管理規則	岡志別の森運動公園利用人数	人	29,608	30,574	30,000	30,000	30,000	30,000	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	市民の健康に対する意識が高まっていることから、スポーツ振興及び健康増進を促進するうえで、今後も事業を継続することが相当である。	引き続き、指定管理者への委託による岡志別の森運動公園及び川上公園（Ｂゾーン）の運営管理を行い、市民の健康増進を図っていく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
														川上公園野球場利用人数	人	4,937	4,446	4,500	4,500	4,500	4,500	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		13,268	13,994	14,125	14,226	14,226	14,226	H27	上記のほか、平成28年度以降の指定管理者の更新に向けて事務を進めていく。			
		54141003																				合　計		13,268	13,994	14,125	14,226	14,226	14,226					
14	4-①	登山道維持管理経費	教育委員会	社会教育G	－	－	ハード	一般会計	安心・安全な登山のため登山道を維持管理することにより、豊かな自然を利用した市民のスポーツ振興や健康増進を促進することを目的とする。	H25	カムイヌプリ登山者及び来馬岳登山者	安心・安全な登山道の維持を図るため、登別山岳会などに委託し、登山道の笹刈りなどの整備を行った。 【実施登山道】 カムイヌプリ登山道（幌別ダムコース） 来馬岳登山道（カルルス・鉱山コース）	－	登山道整備実施回数	回	3	3	3	3	3	3	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	・カムイヌプリ及び来馬岳登山道（カルルスコース）は登山道開設の申請者が登別市である以上、市が管理を行っていく必要がある。 ・スポーツ振興及び観光振興という面においても、来馬岳鉱山コースを含めた登山道の維持管理は、関係団体と協議を行い今後も継続していくことが相当である。	登山が若い世代にも普及しており、気軽に登ることのできる低山の利用は今後ますます増加するものと思われることから、登山道の整備を継続し、登山者が安心、安全に登山できるよう努めていく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	－									地方債								H26	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定であるほか、海外向けの観光資源とするための整備として、関係団体と調整を行い、カムイヌプリ登山コースに外国語表記の看板の設置を行う。	－								一般財源		490	504	704	504	504	504	H27	関係団体と調整を行い、カムイヌプリ登山コースに外国語看板の設置を行う。			
		54141009																				合　計		490	504	704	504	504	504					
15	4-①	総合体育館整備事業	教育委員会	社会教育G	H23	H27	ハード	一般会計	総合体育館の修繕等を行うことにより、利用者の利便性の向上及び安心・快適なスポーツ環境を整備することを目的とする。	H25	総合体育館利用者	道道上登別室蘭線の拡幅に伴い、総合体育館の駐車場レイアウト等を変更する外構工事を行った。	登別市総合体育館条例、登別市総合体育館条例施行規則	総合体育館利用者数	人	61,104	58,408	30,000	66,000	66,000	66,000	国庫支出金	地域の元気臨時交付金（H25）・学校施設環境改善交付金（H27）	1,175		11,725				H25以前	平成24年から引き続き、道道上登別室蘭線の拡幅に伴う外構工事を実施した。	終了	大規模改修工事について、平成27年度中に完了予定であることから、事業を終了する。	今後も、中心的な体育施設としてより、必要に応じて大規模改修を行い、良い環境整備に取り組んでいく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	総合体育館の耐震診断の結果等を踏まえ、耐震補強（ブレース補強）、屋根・外壁の改修、アリーナの内部改修、玄関部分の改修を行うための実施設計を行った。	上記のとおり									地方債		5,200	5,700	127,300				H26	総合体育館の耐震診断の結果等を踏まえ、実施設計を実施した。また、総合体育館改修工事期間中にける代替え施設について、検討を行った。			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他	立木移転補償料	1,376		1,122									
										H27	上記のとおり	実施設計を踏まえ、平成28年１月完了を目途に大規模改修工事を実施予定。	上記のとおり									一般財源		618	2,022	41,528				H27	実施設計を踏まえて、大規模改修工事を実施。また、総合体育館改修工事期間中における代替え施設として、平成27年８月から大谷室蘭高等学校・登別校舎を開放することとした。			
		54141011																				合　計		8,369	7,722	181,675	0	0	0					
16	4-①	市民プール整備事業	教育委員会	社会教育G	H25	－	ハード	一般会計	市民プールの修繕を行うことにより、市民が安心・安全にプールを利用できるよう整備することを目的とする。	H25	市民プール利用者	次の修繕を実施した。 ・プールサイド床修繕 ・内壁修繕	登別市民プール条例、登別市民プール条例施行規則	市民プール利用者数	人	113,987	116,087	115,000	120,000	120,000	120,000	国庫支出金	地域の元気臨時交付金	200						H25以前	施設建設から10年以上が経過し、設備等の破損も多くなっていることから、設備の定期点検を開始するとともに、計画的な修繕を実施している。	維持	市の主要な体育施設である市民プールを整備することにより、市民が安心・安全にスポーツ活動を展開できる環境を整えることができ、健康増進とスポーツ振興に資することから、事業を継続する必要があるが、平成27年度は、緊急的に修繕の必要がないことから休止とし、平成28年度以降、計画的な整備を行っていく。	今後も、事業の継続を図り、老朽化による故障や不具合の生じた箇所について、計画的に整備を実施していく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	次の修繕及び工事を実施した。 ・熱交換器修繕 ・プールサイド床修繕 ・暖房配管工事	上記のとおり									地方債		1,200	6,800		4,100	8,200	2,500	H26	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	－	－	－									一般財源		1,645	2,342		4,147	3,903	2,850	H27	平成28年度以降の修繕計画について検討していく。			
		54141012																				合　計		3,045	9,142	0	8,247	12,103	5,350					
17	4-①	岡志別の森運動公園施設整備事業	教育委員会	社会教育G	－	H26	ハード	一般会計	施設利用者が自由に使用できる休憩施設を設置することにより、利用者の利便性の向上を図ることを目的とする。	H25				岡志別の森運動公園利用者	人	－	30,574	－	－	－	－	国庫支出金	がんばる地域交付金		2,003					H25以前		終了	平成26年度中に設計委託及び建設工事が完了したため、事業を終了する。	今後も、広く市民に開放し、施設の設置目的に沿った利用と公平性を確保しながら、市民の憩いの場となる良い環境整備に取り組んでいく。
																						道支出金													
										H26	岡志別の森運動公園利用者	岡志別の森運動公園休憩所設計委託及び建設工事を行った。										地方債			11,100					H26	施設利用者が自由に使用できる休憩施設を設置し、利用者の利便性の向上を図った。			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27												一般財源			3,709					H27	－			
		54141019																				合　計		0	16,812	0	0	0	0					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																							Check				Action
									事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】											第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案							
18	4-③	学校開放事業	教育委員会	社会教育G	S54	ー	ソフト	一般会計	学校の体育施設を開放することにより、その地域のスポーツ活動を促進し、市民の健康・体力づくりの増進を図ることを目的とする。	H25	学校開放事業利用者	・スポーツの普及及び振興を図るため、市内小、中学校等の体育施設を市民～開放した。 ・また、青葉小学校及び若草小学校を先行実施校と位置づけ自主管理を実施した。 【開放施設】 （小学校）青葉、登別、幌別、幌別東、幌別西、富岸、若草、鷲別、（中学校）登別、（公共施設）のぼりべつ文化交流館　計10校	登別市立学校体育施設開放事業の管理運営に関する規則、登別市立学校体育施設（屋内運動場）開放事業実施要綱	開放日数（年度延べ）	日	1,500	1,561	1,700	1,700	1,700	1,700	国庫支出金								H25 以前	平成25年度より若草小学校及び青葉小学校を先行実施校として位置づけ自主管理を実施し、また平成26年度以降全校実施に向けて検証作業を行った。	維持	学校体育施設を市民に開放することにより、利用者の多い夜間におけるスポーツ活動の場を拡充し、市民のスポーツ活動の振興が図られることから、今後も事業を継続して実施していくことが相当である。 また、自主管理の実施に伴い、利用団体数が増加したことから、今後も自主管理を引き続き継続する。	市民のスポーツ活動の場として今後も学校体育施設を開放し、本市のスポーツ振興を図るとともに、開放校10校での利用団体による自主管理が適切に行われるよう、引き続き実施していく。
																						道支出金														
										H26	上記のとおり	開放校10校において利用団体による自主管理を実施した。	上記のとおり									地方債										H26	開放校10校において利用団体による自主管理を実施した。			
														利用者数（年度延べ）	人	24,296	25,414	30,000	30,000	30,000	30,000	その他	学校開放事業利用団体実費負担金	716	67	352	352	352	352					
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		2,482	0	0	0	0	0			H27	上記のとおり			
		54143001																				合　計		3,198	67	352	352	352	352							